

レアメタル・ニュース

2019年1～6月の記事索引

（右端は発行月日）

市場を中心とした分類

政 策	経済産業省が19年当初予算案を発表	1.24
	アメリカ、中国品2,000億ドル分で税率25%に引上げ	5.16
リサイクル	矢野金属が3.8億円投じNi処理工場を竣工	1.24
	住友金属鉱山が使用済みLIBからCu, Ni, Co回収	4. 8
	18年触媒再資源化実績は23%減少	5.1, 8
	18年貴金属の資源化実績	5.1, 8
	18年レアメタルの回収量は4年ぶりのプラス成長	5.1, 8
	18年Ni, Coの回収量は横ばい、評価額は40%増	5.1, 8
半導体材料	18年のシリコンウエーハ出荷量は127億in ² で7.8%増加	2. 8
	19年の半導体シリコン単結晶見通し—新金属協会	3.24
	18年日本の半導体シリコン販売量—経済産業省	3.24
	18年世界市場は519億ドルで7年ぶり過去最高	4.24
	19年第1四半期のシリコンウエーハ世界出荷	5.16
半 導 体	19年半導体市場は12%減の4,121億ドル—WSTS	6. 8
製造装置	18年の半導体・FPD製造装置需要は2.8兆円で11%増	1.24
	19年半導体の前工程装置市場は14%減少も来年は回復	3.24
	18年半導体製造装置の世界出荷は645億ドルで14%増	4.24
	19年第1四半期は19%減の138億ドル—SEMI・SEAJ	6. 8
電子材料・部品	18年電子部品世界出荷は4兆888億円で横ばい	4. 1
光 産 業	18年度出荷額は13.6兆円で2.9%減	3.24
磁性材料	ボンド磁石の18年世界生産額は1,247億円で8%増	1.24
	18年のネオジム磁石中国輸出量は3.3万tで9%増加	3. 1
	18年の磁性材料国内生産—経済産業省	3.24
	中国・金力永磁がネオジム焼結磁石を年産8,300tに増強	3.24
	愛知製鋼らがDyを使用しないネオジム軽ボンド磁石を開発	6. 8
2次電池	18年の車載用LIB容量単価は2.5万円/kWhで7%高	2.24
	FDKが超小型全固体電池を開発、20年に量産化へ	3. 8
	18年日本のニカド電池生産量は縮小	3.24
	18年ニッケル水素電池の国内生産は3年連続で最高新	3.24
太陽電池	ソーラーフロンティアがCIGS系で最高変換効率を達成	1.24
	18年モジュールの総出荷量は5.8GWで6%減	3. 8
風力発電	18年の導入量は261MWで61%増	3. 1
触 媒	18年出荷実績は10.1万tで5%増加	3. 1
新機能・新技術	NECが量子コンピューター素子を23年に実用化	2. 8
	マグネシウム鉄道車両、新幹線の採用めざし試験実施	3. 1
	シリコンの直接合成をめざすプロジェクトをNEDOが支援	3. 1
	アレルギーフリーのHf,Ta,Irで結婚指輪を開発	3.16
	5Gのsub-6は通信デバイスがSAWかBAWから選択	3.16
	硬度高く細径化可能なCo-Ni-Cr-Mo合金注射針実用化	4. 8
	シャープがディスプレイ用酸化物半導体IGZOを改良	5.1, 8
超硬工具	18年生産実績は6,902tで11%増—日本機械工具工業会	4. 1
	19年1～3月の生産量は1,643tで2%減少	6. 1
耐 火 物	18年原料消費量は95万tで6%増—耐火物協会	5.1, 8

	18年の国内生産は94.5万tで5%増—耐火物協会	5.1, 8
ステンレス	18年の世界生産量は5,073万tで同6%増加	4.24
フェロアロイ	2018年フェロアロイの輸入通関実績	3. 1
	18年の生産実績は104万tで2%増	4.24
	18年日本のフェロアロイ輸入量は178.1万tで6%増加	4.24
	19年1～3月のフェロアロイ輸出入通関実績	6. 1
自 動 車	経済産業省が車体課税を4月以降抜本的に見直し	1.16
	18年ドライブレコーダーの国内販売台数は67%増	2. 8
	18年ハイブリッド車の国内生産はほぼ横ばい	3.24
非鉄金属	2018年日本の非鉄金属生産実績は12品目で増加	3. 8
貿 易	2018年輸入通関実績は1.8兆円で23%増	2. 8
	2018年の輸入通関実績	2.16
	2018年の輸出通関実績は8,594億円で17%増	2.24
	2018年輸入統計の確定値	4. 1
市 況	2019年3月のレアメタル市況	3.24
	2019年6月のレアメタル市況	6.24
国際市況	2018年国際金属の平均価格	2. 8
スクラップ市況	Coと超硬は下げ気配続く	1.16
	Coと超硬、WMoが下げ気配	2. 1
	SUS, Niが反発しCo下げ継続	2.16
	SUS, Ni高騰とCo下落続く	3. 1
	SUS, Ni高騰とCo下落続く	3.16
	SUS, Ni高騰とCo下落続く	4. 1
	Ti, SUS, Ni上昇とCo反発	4.16
	SUS, Ni下げ気配に転じTiは上げ気配を継続	5.1, 8
	SUSやNi, ハイス, 超硬合金が調整し下げ気配に	5.16
	SUS, W, WCが下げ気配	6. 1
	SUS, Niが下げ気配続く	6.16
企業・業界団体・大学など	JEITAの19年電子情報産業世界生産予測は4%プラス	1.1, 8
	通商摩擦の未然防止と早期解決を推進—鉄鋼	1.16
	連年の生産回復もコスト削減や人材確保が必須—特殊鋼	1.16
	人材育成と安全活動の活性化に注力—鋳鍛鋼	1.16
	世界市場は30年に4.2兆円強に拡大—触媒	1.16
	Society5.0の実現に向けより一層注力—JEITA	1.16
	第4次産業革命に乗り、新規需要創出—AI協会	1.16
	18年は高機能材など多くの分野で需要堅調—新金属	1.24
	自動車、電池、医療など需要拡大を目指す—Mg協会	1.24
	新規用途開拓に期待—W・Mo協会	1.24
	米中の貿易摩擦による悪影響を不安視—電池工業会	1.24
	資源の安定確保、電力問題などに尽力—鉦業協会	1.24
	国内消費者需要は6年連続微増—Pt宝飾品	1.24
	省エネ・省人化をめざし業界連携強化を推進—粉末冶金	1.24
	ALANコンソーシアムが水中ネットワーク環境開発開始	2.24
	今後のレアメタル市場①—AMJ・中村繁夫社長語る	4. 1
	今後のレアメタル市場②—AMJ・中村繁夫社長語る	4.16
	東京大学・JX金属が文部科学大臣科学技術賞受賞	5.1, 8
	北海道大学らがMnMo窒化物の合成に成功	6. 1
	SEAJの新会長はニコン会長の牛田 一雄氏	6. 8
	AI協会新会長は石原 美幸氏(UACJ 社長)	6. 8
	JEITA新会長は日本電気社長の遠藤 信博氏	6. 8
	Mg協会の新会長は不二メタル井上 正士氏	6.24

元素別の分類（ABC順）

アルミニウム	18年の国内出荷量は199.7万tで3%減少	2.16
	18年Al粉末出荷量は12,622tで1%増—Al協会	4. 1
	19年度Al製品の総需要見通しは427.4万tで0.2%増加	4.24
アンチモン	国際相場は2割調整し弱含み続く	5.16
	18年中国輸出は金属・酸化物ともに拡大	5.24
ベリリウム	18年国内需要はBe銅を中心に好調	6. 8
ビスマス	国際相場は旧正月連休で小幅反発も低迷続く	2. 8
	18年日本の輸入量は257tで16%減少	2. 8
	価格は3.55ドル/lbでリーマン・ショック以降最安値	4.24
カドミウム	19年は世界生産増加もインド需要堅調で横ばいか	3.24
クロム	フェロクロムの第2Q対日価格は128cで7%高	4.16
	金属の国際相場はさらに軟化し8,000ドルで底打ちか	4.24
	鉱石相場は需要回復などで年初から2割上昇	4.24
	18年日本のCr需要は鉱石・金属が大きく増加	4.24
ガリウム	国際相場は1年半ぶりの安値でさらに弱含み	5.24
	豊田合成がGaN縦型パワー半導体の大電流化を実現	6. 1
ゲルマニウム	シリコンテクノロジーが5Nの金属インゴット生産開始	1.1, 8
	19年の国際相場は需給が緩みじり安か	1.24
	18年内需は光ファイバーがけん引し金属、酸化物回復	2. 8
インジウム	国際相場はITO需要堅調も過剰感強く弱含み	4.24
	FYME在庫35tが2度目の競売で売却	5.16
	相場はFYME在庫3,600tの放出懸念続き一段安	6.24
リチウム	18年中国の輸出は豪鉱石供給増で7.4倍と急増	2.16
	炭酸Liは中国成長鈍化による物余りが値下げを主導	4. 1
	水酸化Li、21年から1万t生産と発表—豊田通商	4.24
マグネシウム	中国相場は1割暴落、規制緩和により一段安	1.16
	石炭鉱山の爆発事故で原料の кокс が先高感	1.24
	マグネシウム鉄道車両、新幹線の採用目指し試験実施	3. 1
	中国相場は減産により2月からじり高続く	3. 8
	19年需要予測は回復も2年連続で4万t割れ	4. 8
	石炭鉱事故の影響が解消され、4月に調整入り	5.1, 8
マンガン	シリコマンガンはじり安が続くもコスト制約で底打ちか	3.16
	金属Mn相場は2,100ドルでピークから3割調整	3.16
	18年Mn鉱石の中国輸入は2,766tで30%増加	3.16
	Mn鉱石国際相場は7ドル割れも高値水準が続く	3.16
	大手が生産調整も中国の200系需要は振るわず	6.16
モリブデン	金属製品の18年生産額は104億円で3%減少	3. 1
	今年度上期の相場は12～13ドルで横ばい	4.24
	金属製品の19年1～3月の生産実績は、20%減	6.16
ニッケル	住友金属鉱山の19年世界需給予測は4.9万tの供給不足	1.1, 8
	18年1～10月の国内需要統計	1.1, 8
	19年のNi世界需給は供給不足が緩和—INSG予測	6. 1
ニオブ	フェロニオブの18年の世界需要は10.5万tで17%増	5.1, 8
レアアース	18年12月輸入価格はDyとTbが反発	1.16
	1月輸入価格は磁性材料が下げ止まり	2. 8
	18年中国のレアアース鉱石輸入量は38倍に急増	3. 8
	2月の金属輸入価格は磁性材料が横ばい	3. 8
	18年のレアアース輸入実績は29,779tで9%増	4. 8
	18年レアアース国内需要は18,550tで8%増—新金協	4. 8

	中国のレアアース採掘・生産割当、第1次は6万t	4.16
	3月相場は軽希土調整もDy、Tbが上昇	4.16
	4月相場は軽希土類調整もDy、Tbが上昇	5.24
	米中貿易戦争が激化し中国の禁輸懸念広がる	6. 1
	米中貿易戦争の余波で中国相場が高騰	6.16
	5月価格はミャンマー鉱不足でDy、Tbの値戻し続く	6.24
金属シリコン	減産が相次ぎ在庫減少で相場底打ちか	2.16
	中国・新疆の過剰生産続き、今年の相場は横ばいか	5.24
	18年日本の金属Si輸入量	5.24
多結晶シリコン	低級品が年末まで急落し底打ちの兆し	2. 8
	18年太陽光発電の低成長により、相場横ばい	5.24
	供給が4社に集約し、供給過剰感が解消向かう	6. 1
タンタル	18年国内需要は444tで9%減—新金属協会	4. 1
チタン	東大・岡部教授がTiスクラップ酸素低減を講演	1.1, 8
	京大・宇田教授が新精錬法でチタン協会技術賞受賞	1.1, 8
	浅草寺が地震・強風に強いTi製屋根瓦を採用	1.1, 8
	カナメのTi製屋根瓦がグッドデザイン賞を受賞	1.1, 8
	大阪チタは1952年に工業化成功—杉崎社長語る	1.1, 8
	東京チタはサウジ新工場稼働間近—宮林常務語る	1.1, 8
	チタン協会永年技術功労賞受賞者による座談会	2. 1
	金属Tiの世界市場—チタン協会・三木氏	2. 1
	展伸材の用途別市場—13年を底に回復続く	2. 1
	スクラップが在庫縮小で反発し、今年の契約が値戻し	6. 1
	18年日本のTi展伸材出荷実績は4%増	6. 1
	18年スポンジチタンの世界生産量は能力向上も1%減少	6. 1
	日本のスポンジチタン2社18年度実績、19年度見通し	6. 1
酸化物	18～19年の酸化物・顔料の国内需給・輸出入	6.24
タングステン	AMJ西野氏による1～3月の相場予測	1.16
	金属製品の18年の生産額は114億円で7%増加	3. 1
	日本のW輸出入額は輸入額が急増	3. 1
	相場は小幅反発も上げ幅鈍く270～280ドルで推移か	3. 8
	18年日本の輸入量は酸化物・炭化物が増加	3. 8
	カテーテル向けWリボンが好調—日本タングステン	4. 8
	AMJ西野氏による4～6月の相場予測	4. 8
	金属製品の19年1～3月の生産実績は9%増	6.16
バナジウム	上期の相場は40～80ドルと底打ちか	4.16
ジルコニウム	18年日本のオキシ塩化Zr輸入量・単価	5.1, 8
	18年中国のZr鉱石輸出入実績	5.1, 8
貴金属	18年投資用Pt販売・買取は5.1tの販売超過—田中貴金属	3. 1
	Pdは地金在庫が中国への流出で縮小し、最高値更新続く	3. 8
	Rhは18年10月に上昇一服した後2,800ドル台で推移	3. 8
	Ptは値上がり要因見当たらず、700ドル割れの恐れも	3. 8
	Irは19年上期1,400～1,500ドルで横ばい	3.16
	ウォルターバーグ白金族PJ、阪和が9.755%の権益取得	3.16
	Rtの19年上期価格見通しは250～300ドル	3.16
	Rhは2月半ばに2,600ドル回復後急上昇し3,000ドル突破	3.16
	Pd価格は昨年同期より高騰、3月に1,604ドル	4.24
	Rh価格は3月半ばに3,345ドル/tozまで上昇後に反落	4.24
	19年の白金族世界需給①—Pd、Pt	6.16
	南アの供給がPt相場低迷で抑制され、タイト感強まる	6.24
	19年の白金族世界需給②—Rh、Ir、Ru	6.24